

2018年11月号 簿記論 つぶ問

1問目

【問題】

添付の表は、ファイナンス・リース取引の借手における計算条件をまとめたものである。
空欄 A から K を埋めて、表を完成しなさい。

		所有権移転	所有権移転外
リース資産およびリース債務の計上価額	リース物件について (A) が明らか	(A)	以下のうち低い額 (A) (B)
	(A) が不明	以下のうち低い額 リース物件の (C) (B)	
現在価値計算に用いる割引率(取引判定時や利息法による計算にも同様に用いる)	借手が (D) を知り得る	(D) を用いる	
	(D) を知り得ない	(E) を用いる	
割引計算に際しリース料総額に含める金額		(F) の行使価額	(G)
減価償却方法		自己所有の固定資産に適用する方法と (H) の方法	自己所有の固定資産と (H) の必要なし
耐用年数		(I)	原則 (J)
残存価額		問題文の条件に従う	原則 (K) (または (G))

【解答】

		所有権移転	所有権移転外
リース資産およびリース債務の計上価額	リース物件について 貸手の購入価額 が明らか	貸手の購入価額	以下のうち低い額 貸手の購入価額 リース料総額の現在価値
	貸手の購入価額 が不明	以下のうち低い額 リース物件の 見積現金購入価額 リース料総額の現在価値	
現在価値計算に用いる割引率（取引判定時や利息法による計算にも同様に用いる）	借手が 貸手の計算利率 を知り得る	貸手の計算利率 を用いる	
	貸手の計算利率 を知り得ない	借手の 追加借入金利率 を用いる	
割引計算に際しリース料総額に含める金額		割安購入選択権 の行使価額	残価保証額
減価償却方法		自己所有の固定資産に適用する方法と 同一 の方法	自己所有の固定資産と 同一 の必要なし
耐用年数		経済的耐用年数	原則 リース期間
残存価額		問題文の条件に従う	原則 ゼロ (または 残価保証額)

【解説】

太字部分が解答になります。

リース会計における借手の会計処理では、所有権移転ファイナンス・リース取引であるか、所有権移転外ファイナンス・リース取引であるかによって、計算問題で使用する各数値が異なります。なお、「割引計算に際しリース料総額に含める金額」にある各金額や、「残存価額」における残価保証額などは、必ず与えられる計算条件ではありませんので、注意しましょう。

本問は、用語の穴埋めをするためではなく、計算条件の選択が自然とできるくらいに表の内容を身に付けることを目的として、復習してください。また、本問では出題していませんが、3つの所有権移転の有無の判定基準についても、併せて押さえておきましょう。